

## 魚津市教育振興基本計画(素案)へのご意見と市の考え方(パブリックコメント)

章	ページ	ご意見	魚津市の考え方
		<p>① 令和2年12月22日 提出</p> <p>「35人学級」に関する国の動向を踏まえ、魚津市の現状や今後の方針についても基本計画に盛り込んではいかがでしょうか。</p> <p>◆国の動向</p> <p>現在 小学校1年のみ35人 他の学年は40人      今後 令和3年度 小2に拡大予定      段階的に引き上げ、令和7年度までに小学校全学年に拡大予定</p> <p>◆富山県、魚津市の現況</p> <p>富山県 独自に小学校2年まで拡大運用（選択制）      魚津市 令和2年度 小学校2年      （35人学級選択〇校、36～40人級〇校）</p> <p>◆施策・市方針等</p> <p>P60「1クラス30人学級」の実現性も考慮しながら、新しい時代の学びの環境充実について検討していく」と記載されているが、具体的に「35人学級」に対する方針や対応策について触れてはどうか？      ⇒「国・県の動向を見ながら導入・実施を検討する」との表現も考えられる。</p> <p>◆その他（学校規模適正化の関係）</p> <p>「35人学級」導入に伴い、令和7年度までの学級数の見込みや教室数不足の有無等について試算されると思うが、教育振興基本計画の中に詳しく記述するかどうかは別として、</p>	<p>教育環境の整備推進として「1クラス30人学級」の実現性の検討について記載していましたが、「少人数学級によるきめこまやかな教育の充実」について計画に盛り込むことを再考いたします。</p>

		計画期間内の大きな問題であり、対応が望まれるのでは？ （例）35 人学級導入に伴う道下小教室数と統合目標年度への影響（見直し）	
5	60	◆施策の展開 ◆ 1 きめ細やかな教育の充実 学校の実情に応じた効果的な少人数教育を実施するとともに、専科教員等を活用し、きめ細かな教育を充実していきます。 また、「1 クラス 30 人学級」の実現性も考慮しながら新しい時代の学びの環境充実について検討していきます。	◆施策の展開 ◆ 1 きめ細やかな教育の充実 子どもたちと向き合う時間を確保するために働き方改革を進め、学校の実情に応じた効果的な少人数教育の実施や専科教員等の活用、また、少人数学級の実施について検討を行い、きめ細かな教育を充実していきます。
5	61	4 円滑な統合の推進 「魚津市学校規模適正化推進計画」に明記されている道下小学校と経田小学校の統合小学校については、児童数の推移を注視しながら、検討を進めていきます。	「魚津市学校規模適正化推進計画」に明記されている道下小学校と経田小学校の統合については、児童数の推移及び少人数学級の検討を踏まえて進めていきます。
		② 令和3年1月20日 提出 P63～64 「めざす姿」と「施策の展開」の間に相関性がないのでは。	4つの目指す姿全体に対する施策として、具体的なソフト面の施策が「1 公民館活動振興事業」と「2 放課後子ども教室等推進事業」であり、ハード面の施策として「3 公民館施設の適正な維持管理と施設整備」を記載しているものです。つまり、姿と施策がひとつひとつ対応しているというものでなく、全体として関連している記載となっています。 これらの施策は新しいものでなく、現在も行っているものであり、引き続き行っていくことがめざす姿に近づくものと考えています。 また、社会教育施設については、注釈を追加しました。

	<p>P65</p> <p>「社会教育施設」とあるが具体的にどこの施設かを明確にしないと、どのような取り組みが行われるのかははっきりしなくなるのではないかと。アバウトでわかりにくいと思われる。</p>	<p>P30 社会教育施設の注釈を追加</p> <p>社会教育活動において利用される施設で、公民館や図書館、博物館などがある。市の社会教育施設では、各地区公民館や図書館、水族館、埋没林博物館、歴史民俗博物館、教育センター、新川文化ホール、新川学びの森天神山交流館がこれに相当する。</p>
--	--	--